

赤色はヘリコプター、救急車、黄色は救急車、緑色はバス、徒歩で搬送を指示、情報を基幹病院に通報する。

◎全般的注意

- (1) トリアージ責任者 (triage officer, TO) は治療に参加しない。
- (2) TOの命令は絶対である。私見を挟んではならない。
- (3) トリアージ部門では最小限の治療を行う。
- (4) トリアージを済ませ、カードを付けている患者以外は移動させない。
- (5) 患者の動線は一方向で、逆行させない。
- (6) 小児は出来るだけ両親と一緒にする。
- (7) 救助チームは可能な限り情報を与えて、パニックを防ぐ。

— 四つのテスト —

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

- 8月27日例会： 納涼例会 於嵐溪荘
9月3日例会： 青少年活動月間 青少年奉仕
9月10日例会： クラブフォーラム (IM報告)
9月17日例会： 会員卓話 小島茂男さん
9月24日例会： 会員卓話 大竹保男さん



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を
行動力と先見の眼で

例会日
1996. 8 . 20
累計 No 476
当年 No 7

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長／堀川 正幸
幹事／佐藤 義英
SAA／長谷川 恵慈

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 卓話「医療と防災」 山本 賢会員

出席： 本日の出席 56名中40名

先々週の出席率 56名中48名 85.71% (前年同期92.73%)

7月の出席状況：会員数56名 例会数5回 平均出席率85.00% (前年同月97.64%)

先週のメイクアップ： 8月2日 グラムRCへ 山口龍二さん

7日 三条RCへ 外山晴一さん

12日 三条南RCへ 中條耕二さん、羽賀一夫さん、山上茂夫さん

13日 記帳 吉川吉彦さん、山上茂夫さん

14日 三条RCへ 布施 勲さん、山上茂夫さん、羽賀一夫さん、
山口龍二さん

19日 三条南RCへ 坂本勝司さん

ビジター： 13日 三条RCより 斎藤弘文さん、林 光輝さん

三条南RCより 長谷川晴生さん、坂井範夫さん

20日 高知北RCより 井上博史さん

見附RCより 坂田亮一さん

三条南RCより 野島廣一郎さん、水野一郎さん

会長挨拶： 堀川正幸

ご挨拶申し上げます。

井上さん遠い所をようこそ……。

お盆休みも終わってしまいましたが、皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか……。私は16、17、18日と立山へ行ってきました。朝5時に家を出て9時に着きました、大変混んでいてバスの待ち時間が2時間、ケーブルカーが3時間という状態でした。早いほうのバスに並んだところ途中で打ち切られ、またケーブルカーの方に並び直して、結局室堂に着いたのは午後1時30分ころでし

た。この日は時間があまり無いので付近を散歩するだけでしたが、夜は満天の星で天の川もはっきりと見え素晴らしい星空でした。翌17日は大変良いお天気で一越し、雄山、大汝山、別山乗越と従走し雷鳥沢へと下りました。今年は雪が多かったせいでしょいか雪溪だらけで、雪の解けた後から花が咲くということで、まだ蕾あり、花ありと春と夏が一緒のようでした。沢山の花が咲いて大変きれいでした。18日は室堂から天狗平、弥陀が原と歩いて下り、12時には下におり、5時に家に着きました。2月に予約申し込みをしたのですが、前日迄神様に天気が良くなるようお願いしておきました、お陰様で本当に素晴らしい登山でした。今日は山本先生の卓話ですし、幹事報告も沢山ありますので、これでご挨拶を終らせていただきます。

幹 事 報 告： 佐藤幹事

- ・ロータリーの友事務所より 1996～97全日本会員名簿が届きました。
- ・伊勢崎RC、伊勢崎中央RC、伊勢崎東RCより 事務局移転のお知らせ
(株)ホテル・ザ・サンラク（3クラブ合同事務局として）
- ・吉田ガバナーより 残暑見舞いが届いています。
- ・地区ロータリー財団委員長より
「認証に関する管理委員会の重要決議—1996年4月」の確認
- ・2560地区ガバナー、ロータリー財団委員長、財団奨学金委員長より
“ジョージア ロータリースチューデントプログラム”について
- ・分区代理、I・M実行委員長より 第四分区IMフォーラムの為のアンケートのお願い
- ・吉田ガバナー、財団奨学金委員長より
国際親善奨学生候補者選考結果について（佐藤明子さん）
残念ながら推薦されませんでした
- ・吉田RCより 8／30（金）例会時間変更（PM7:00～）記帳受付あり
- ・県共同募金会三条支会より 共同募金三条支会委員の委嘱について
堀川正幸（期間平成8年9月1日～平成10年8月30日）
- ・地区大会実行委員長より
 - ・地区大会登録、登録料払込について
 - ・親善ゴルフ大会参加のお願い
 - ・「さよなら懇親会」参加のお願い
- ・村松ロータリークラブより 例会時間変更のお知らせ
毎週火曜日12:00～13:00
- ・佐藤明子さんより 残暑見舞いが届いています。
- ・米山記念奨学会より 1995年寄付金納入明細表送付
- ・吉田ガバナーより GSE（五十嵐良子さん）選考結果について

争を放棄した日本には、災害医療は育っていない現状である。

災害医療においては最大多数の被災者に、限られ医療スタッフと医療資源の中で最善を尽くすために到底助けることが出来かねる犠牲者にエネルギーを使うことにより多数の人が亡くなる危険を避けという「冷酷」なルールがある。そのためには一定標準方式によるステップを守った救出、治療を行う要があり、その重要なステップが「トリアージ」である。

◎トリアージ

トリアージとは、本来コーヒー豆を選別する事であるが、ここでは患者の重傷度と治療優先度を決めるである。

○トリアージの原則

- (1)1人で判定しない。外科に限らず経験を積んだ2名ずつぐらいのグループでトリアージチームを作る。
- (2)被災者にたいする感情を顔に出さない。期待されないよう。
- (3)重傷度より緊急度が必要とされる。
- (4)軽傷群が騒いでも決して鎮痛処置をこうじない搬送患者が増える。
- (5)後治療にまわる本当の重篤な患者には血管確保し、鎮痛、強心処置を行う。

○トリアージタッグ

災害時の被災者の識別には国際的に決まっているタグを用いる。

(1)赤色タッグ

低血圧、低酸素血症を呈して生命の危機に瀕している患者で、ヘリコプターや救急車で早期に搬送し適切治療を受けると生存確率の高いもの。（相当量出血、複雑骨折、呼吸器系外傷、心タンポナート、外傷等）

(2)黄色タッグ

2～3時間内で手術を要する患者で全身のショック状態を呈しないもの。但し処置なしでは死亡する可能性の高いもの。（熱傷、大骨折、脊髄損傷、頭部外傷）

(3)緑色タッグ

生命に危険がなく、外来治療で十分処置可能な患者で、通常現場から徒歩などで移動してもらう。必要な時は重症者の搬送に協力してもらう。（小骨折、10%以内熱傷、ヒステリー）

(4)黒色タッグ

生命兆候のないもの。明らかに生存可能性のない致命傷を負っている場合。

◎応急処置

トリアージが終わったら、災害の及ばない、搬送に便利な地点に同じ色のグループに分けて集合させ、最小限の応急処置、症状をタッグに記入する。

◎搬送